



THE YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION NEWS

YMCA 大阪青年

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室
 〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6
 TEL 06-6441-0894 FAX 06-6445-0297
 大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧いただけます。
 URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>

YMCAユースが語る! グローバルな つながりへの希望



一人ひとりが世界を よりよい場所にする力を持っている



大阪YMCA国際専門学校高等課程国際学科(IHS) 卒業生
 世界YMCA同盟 チェンジエージェント
 やまうち たくま
山内 沢真

3年前、中学生の時に不登校を経験し、進路に悩んでいた私が選んだのがIHSでした。期待通り、私はIHSで英語力を磨くことができましたが、何よりも大きかったのは、YMCAが私の居場所になったことです。私は、高校の3年間でYMCAが主催する様々な国際交流プログラムに積極的に参加してきました。国籍に関係ない多くの人との交流によって、本当に多くを学ぶことができました。私は、今年から世界YMCA同盟のチェンジエージェント*(Change Agent)として活動していますが、その3年間の経験がなくては、このような活動はできなかったと思います。YMCAでの活動を通して、私は世界につながる力をつけることができました。YMCAには一人ひとりの居場所があり、そこで様々な経験をし、自分を高めることができ

ます。
 先日、六甲山YMCAで開催されたグローバル・ユース・カンファレンスに参加しましたが、アジア圏のほか、アメリカやコロンビアなど南北アメリカからの参加者もいる文字通りグローバルな集いでした。2日間の交流で感じたことは、大阪YMCAと海外YMCAのさらなる関係の深化の可能性です。参加者それぞれが深めた友情を帰国した後も温め続け、それを発展させることができれば、各国の若者が主体となって、今後もっと充実したYMCA間での国際交流を企画していけると思います。今後は、中東やアフリカ、ヨーロッパやオセアニア地域のYMCAなど、今回参加のなかった地域のユースも集うことができれば、より世界規模でユースが抱える諸問題を話し合い、解決できる場になるのではないかと思います。私たち一人ひとりが皆、世界をよりよい場所にする力を持っています。一人でも多くの方がYMCAに集い、共に活動していけるようにしていきたいと思っています。

***チェンジエージェント(Change Agent)**
 世界YMCA同盟が主導するユース育成事業を推進するメンバー。各国のYMCAから選出されたユース代表が、グローバルな視野を持ちながら、世界のYMCAのユースと連帯して各自の地域課題の解決に取り組み、各々のYMCAとその地域において、変革をもたらす推進者に成長していくことを目的としている。

アクション 行動で人々を奮い起こし、 世界を変えていく



コロンビアYMCA
 野外教育プログラムコーディネーター
 サンティアゴ・レイナ・オルティス
SANTIAGO REINA ORTIZ

グローバル・ユース・カンファレンスという素晴らしい変革の機会をくださった神様とYMCAに心から感謝します。すべてのプログラム、施設、そして人々を通して日本文化やその精神を体験することができました。参加しようと夢に描いたのは2、3年前ですが、それが実現し、ここで得た体験や学びは忘れられないものとなるでしょう。日本とコロンビア両YMCAの協力で、同胞ティエゴと共にインターンとして参加し、コロンビア人として初めてとなる誇らしい体験をさせていただきました。

日本での働きの中で、私は、言葉より笑顔がより効果的に緊張を和らげてくれるコミュニケーションとなる場面に何度も直面しました。笑顔を分かち合うことは強い力となり、自分をより幸福にするばかりでなく、人をも成長させるものとなることを学びました。

また、仲間と共にグローバル・ユース・カンファレンスの活動的な準備メンバーになったことで、確かなリーダーシップとチームワークのスキルを身につけることができました。ワークショップのための調査やファシリテーターとしての働きを通して、グループの人々が互いに励まし合うことで世界平和に貢献できることを知りました。そして、お互い

の文化を共有し、その中にある人生の物語と交流によって「人を知る」ことは、真実に人を勇気づける力となることを実感しました。世界をつなぐ隣人として、人の成長を促すスタッフとして、そして、プログラムや教育上の経験へと導くリーダーとして、私は地域社会に奉仕するボランティアとなる機会をYMCAによって得ることができました。

すべてのYMCAメンバー、特にリーダーやボランティアは、文化や年齢、社会的背景に関係なく、自分の周りの人々に人格的なコミットをするために最善を尽くすべきだと思います。同時に、私たちが言葉より多くの行動(アクション)で人々を奮い起こし、この世界を少しずつでも変えていくために、前向きかつ謙虚なリーダーとなることを願っています。

この感動的な南国でいただいたすべてのご厚意に、ありがとう! グラシアス! (原文英語)



・YMCAユースが語る!グローバルつながりへの希望	1P
・Global Youth Conference報告	2P・3P
・ネパール震災支援報告	3P
・創立記念礼拝・活動報告会報告	
・食育コラム ・早天祈禱会 ・チャリティーラン開催のお知らせ	4P
・「安全の日」について	
・ユースリーダー安全支援金ご協力のお願い	
・会員・賛助会	

大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人の力と力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

No.681

2015
 7・8月号

Global Youth Conference 2015

グローバル・ユース・カンファレンス [2015.6.18~23]

6月18日から6日間、グローバル・ユース・カンファレンスが六甲山YMCAにて開催されました。グローバルリーダーシップ育成という大きな目標に向かい、グローバルラーニングセンター構想の第一歩として企画・実施されたものです。海外から40名、国内から約90名が参加しました。歓迎会、日本文化体験、フィールドワーク、文化交流の夕べなどが実施されると同時に、メインイベントとなるカンファレンスには、約100名が参加し基調講演、トピック別ワークショップと出身地域別討論会、さらに各地域代表者によるサミット会議という流れを経て、世界の課題解決におけるユースの役割や世界YMCAネットワークの中でのユースの連帯と行動について学び、最終的に、未来への行動を誓う宣言文(下掲)を採択して全日程を終えました。今回の取り組みが目標への第一歩に相応しい内容と規模になったことを確信しています。今後、大阪YMCA全体でのさらなる協働による取り組みが期待されています。



■ 基調講演



キャサリン・テイラー氏

マノジュ・シュレスタ氏

駐大阪オーストラリア総領事 キャサリン・テイラー氏と甲南大学経営学部教授 マノジュ・シュレスタ氏にお話ししていただきました。

テイラー氏は、若者が自己を形成する時期に世界を旅しグローバルな視野を広げることの重要性を、ご自身の体験を交えて話されました。午後にもたれたワークショップのテーマのひとつでもある「ユースエンパワーメント」と直接関わる内容で、参加者に大きなインスピレーションを与えました。

シュレスタ氏は、アジア地域におけるグローバルパートナーシップを進展させる上で日本の強みと弱みについて話されました。日本の強みを利用することで、アジア地域および世界がどのような恩恵を享受できるか、具体的に話されました。世界(特にアジア)から見た日本の強みを世界のために役立てるにはどうすればよいかという内容で、非常に示唆に富むものでした。

■ ワークショップ・ディスカッション・サミット会議

はじめに現代社会が抱える教育的・社会的問題に関心をもち理解を深めるために、「フェアトレードと社会的企業」「ネットいじめとソーシャルメディア」という身近でありながらグローバルに広がるトピックと、「地球環境の保全」「平和構築とユースエンパワーメント」という巨視的テーマでありながらローカルな活動が求められるトピックから各自選択した2つのワークショップに参加しました。翌日午前には、ワークショップの中で提案された解決策や行動案の中からトップ3を投票によって決定し、午後の地域別ディスカッションに臨みました。その後、出身地域別に再編成された8つのグループに分かれ、その地域の社会背景に合わせた議論を行い、最後に各地域の代表者によるサミット会議で作成された宣言文が発表される、という非常に長く連続した構成となりました。この流れは、テーマであるYouth in Action: Education; Society; Governmentをベースに、ユースが実社会において社会を変革する行動を展開していくためのシミュレーションともなっています。

参加者たちは2日にわたるハードな時間に頭も体も疲れましたが、宣言文を完成させた瞬間には、充実感と達成感に満ちた最高の笑顔を見せてくれました。



Global Youth Conference 2015 Declaration

We declare that we are motivated to initiate change in the areas of youth empowerment, the environment, fair trade and cyberbullying. It is our responsibility as global youth to learn, communicate, care and champion these social causes for our own and future generations.

グローバル・ユース・カンファレンス 2015 宣言

私たちは、青少年のエンパワーメント、環境保全、フェアトレード、ネットいじめの各領域において、その問題解決のために変革を起こしていくことを宣言する。未来の世代と私たち自身のため、これらの社会課題について学び、伝達し合い、関心を持ち、克服していくことは、グローバルな世界に生きる若者としての私たちの責務である。

インターンとしての働き

ティモシー コー
シンガポール経営大学2年生 Timothy Koh

私は、六甲山YMCAで開催されたグローバル・ユース・カンファレンスでインターンとして3週間運営に参加し、現在は土佐堀のグローバル事業推進室で活動しています。

六甲山YMCAでは、インターンの仲間とチームを組み、平和な世界を構築するためのプロセスとして、個人の成長に焦点を当てた「平和構築とユースエンパワーメント」というワークショップの進行をしました。この経験を通し、私はたくさんの方の話を学び、さまざまな参加者との交流を通して、多様な異なる文化を体験できたと感じています。

また、仲間と六甲山YMCAの紹介ビデオを制作するなど、新しいスキルを身に付けたり、日本文化を経験したりと、個人的にも成長するという自分の目標を達成できていると思います。今後もこういった成長を続けていければと願っています。

とてもフレンドリーに、また温かく迎えサポートしてくださった全ての方に感謝しています。



グローバル・ユース・カンファレンスの運営で活躍した12名のインターンの皆さん

■ 日本文化体験

リー ジェン タ
大阪YMCA学院 LEE JIAN TAT

大阪YMCA学院日本語学科の留学生がリーダーとなって、準備、進行を担当し、独楽・けん玉・折り紙(千羽鶴)・カラオケを共に体験しました。日本の伝統文化や遊びを初めて体験した人も多く、楽しく熱心に何度も挑戦したり、交流しながら活動を共有したりすることで、充実した時間を過ごしました。世界中の異なる背景を持った人々に出会い、自身の考え方を広げる機会にもなりました。



■ Mt.Rokko YMCA Field Work

まず、六甲山の歴史をスライドで振り返り、かつて私たちの生活のために森林伐採が進み、その後、洪水や土砂災害が進んだためダムを造り、植樹により現在の姿を造ってきたことを学びました。

次にグループでのアクティビティ。①Hiking-自然とのつながりをテーマに山中を歩き、山と人との関係を考えてみました。②Nature Game-生命のつながりをテーマに、ゲームを通して生物多様性について学びました。

③Big Craft-自国の方向と距離を焼き板で表示するモニュメントを製作。

最後は、地球を大切にすること、未来の子どもたちに美しい自然を残すことは私たちの責任であることを共有しました。



■ カルチュラルナイト・交流会

みやもとまな
南YMCAユースボランティアリーダー 宮本 茉奈

オープニングは、よさこいグループ「夢風人」が伝統的なよさこいと現代的な演舞を行ない、2曲目は、参加者も一体となり輪になって踊りました。続いて、台湾、香港、シンガポール、日本、韓国、そしてコロンビアの紹介が行われました。言葉を使わずミュージカル風に歴史を表現したり、民族衣装を着て踊ったり、素敵な発表が繰り広げられ、最後は「ヤングマン」を全員で熱唱し踊りました。

笑いや感動を通して共感する心は、地域・文化の垣根を超えること、伝えようとする想い、そして互いに理解しようとする想いがあれば、「ひとつになれる」ことを実感しました。



■ Morning Devotion(朝の礼拝)

大阪YMCAのUni-Yが担当しました。英語での礼拝の中で、山内沢真さんとサンティアゴさんの2人による証しがありました。YMCAが一人ひとりの居場所(space)となり、そこで若者が変革され(transformation)、社会にも影響を与える(impact)という「YMCA Change Model」の具現化を示してくれました。また、皆の祈りを布に書いてつなげていくPrayer Tapestryも行いました。参加者から、「有志の方がすすんで礼拝に関わろうとする姿にとても感銘を受けました」、「こんな世界になってほしいという思いを言葉にする良い機会になったと思います」などの感想が寄せられました。



※ YMCA Change Model … 世界YMCA同盟が提携しているユースエンパワーメントの実践過程。

ネパール地震緊急支援報告

北九州YMCA総主事、中期計画推進室の協力主事でもある小川健一郎さんが4月25日にネパールで発生した地震の緊急支援のため、5月29日から6月3日に現地を調査・訪問しました。

カトマンズ市内ではレンガの建物が崩れ落ちて、ダメージを受けているところがたくさんある一方、被災していない建物も多く、被害の差が大きい印象を受けたとのことでした。

この度は、株式会社モンベル様よりご支援を受け、持参したテントをネパール軍に贈呈し、カトマンズから離れた場所まで支援の行き届きにくい山間部に届けてもらうことになっています。日本からのテントの運搬は、タイ国際航空様が無料で引き受けてくださいました。

地震発生直後には、大阪YMCAで日本語を学んでいるネパールからの留学生が出身国のために何かしたいと自ら立ち上がり、緊急街頭募金が行われました。

また、5月23日にインターナショナルスクールで開催されたInternational Festivalでは、プレスクール(幼稚園年少)の園児が集めた募金の目録が、国際専門学校で学ぶネパールからの留学生に贈呈されました。

大阪YMCAでは、これからも引き続きネパールの支援活動を続けてまいります。



大阪YMCA 創立記念礼拝・活動報告会

かわざし きよし
大阪YMCA会員・活動推進委員 川岸 清

去る6月6日、大阪YMCA会館10階チャペルに110名が集い、創立133年を記念する礼拝が厳かに、和やかに持たれました。春名康範牧師(日本基督教団天満教会)から、マタイによる福音書第16章13節-20節をテキストに、「この岩の上に」と題する説教を拝聴しました。ご自分の経験を交えながらユーモアたっぷりのお話に、時折、会場から思わず笑い声が聞かれるほどでしたが、YMCAを生み、育て、支え、そして将来への展望の基盤となるものは私達の「心意気、燃え立つ熱い思い」であるとのメッセージに一同、深い感銘を受けました。

席上献金は「ネパール地震緊急支援募金」として捧げられ、一同、かの地の被災者を覚え祈りました。

礼拝の司会は吉川尚志さん、奏楽は和田正苗さん、受付などは活動推進委員会メンバーが協力して担当しました。

礼拝後は、大阪YMCA活動報告会が開催されました。この会では末岡祥弘総主事からの全体報告に続き、ウエルネス・学校・こども園・シニア・グローバルの事業について、スクリーンや実技を交えた報告が各担当からなされました。これらの報告から、時代の変化・ニーズに対応して努力する大阪YMCAの現状を理解するとともに、「一人ひとりが互いにかがやき、社会につながるYMCA」との今年度基本方針を思い出しました。





おいしさと匂い

やまなかじゅんこ
YMCAとさぼり保育園 スタッフ 山中 淳子

嗅覚は、五感の中でも特に本能的な感覚と言われ、睡眠中も休むことはありません。これは寝ている間も外敵から身を守るため、一番発達した感覚を起しておかなければならないからだと言われています。

匂いには鼻から直接かぐ「匂い」と、食べ物を口に入れた時に口の中から鼻へ抜ける「匂い」があります。後者の「匂い」を「風味」といい、舌で感じる味覚とあいまっておいしさを倍加させます。風邪などで鼻が詰まっている時、何を食べても味気なく感じるのはそのためです。

とさぼり保育園の厨房はオープンスタイルになっているため、調理中の匂いはそのまま保育室へとつながります。

キャベツを蒸した時には、「キャベツの匂いがする!」と厨房に子どもたちが来ます。それほど匂いの強い野菜ではないのに、匂いだけで野菜を当てる子どもの嗅覚に驚かされます。またカレーやハンバーグなどの日は、保育園中がおいしそうない匂いに包まれます。そんな日は、子どもたちはもちろん職員も「今日は何?」と目を輝かせて厨房にやって来ます。そしてこの「おいしそうない匂い」が給食を楽しみに待つ気持ちとなり、「食欲」へとつながります。手作りでオープンスタイルだからこそ、伝えることのできる「おいしそうない」。

食事をするうえで大切な要素の一つですね。

食欲が落ちてしまう真夏こそ、嗅覚を刺激するような食事を取り入れてみてはいかがでしょうか?



大阪YMCA早天祈禱会

第267回 日 時 … 2015年7月17日(金)7:30~8:30
証 し … 丹吾 礼さん(大阪土佐堀ワイズメンズクラブ会員)
場 所 … 大阪YMCA会館 10階 チャペル

第268回 日 時 … 2015年8月21日(金)7:30~8:30
証 し … 内山 雅文さん(土佐堀YMCA館長)
場 所 … 大阪YMCA会館 10階 チャペル

第21回 大阪YMCAチャリティーラン 開催のお知らせ

日 時 … 2015年10月12日(月・祝)
場 所 … 花博記念公園鶴見緑地 特設コース
お問い合わせ … 大阪YMCAチャリティーラン事務局
【TEL】06-6441-0894
【FAX】06-6445-0297

【HP】<http://www.osakaymca.or.jp/volun/charirun2015.html>

大阪YMCA「安全の日」について

大阪YMCAでは、屋外での活動の機会が多くなる本格的な夏を迎えるにあたり、毎年7月18日を大阪YMCA「安全の日」と定め、「生命」の大切さと自分自身の「安全」と他者の「安全」を考える機会として、「安全キャンペーン」を実施しています。

私たちは、日常生活の中で多くの危険なことに直面しながら、知らず知らずのうちに見過ごしたり、気づかなかったりすることがあります。自分自身は気をつけていても、思わぬ災難、災害の当事者になることもあり、単に軽い怪我だけでなく、尊い生命までも失ってしまうことさえあります。

たった一つしかない自分の「生命」を自分自身で守っていくために、そしてYMCAが大切にしている価値(思いやり、誠実さ、尊敬心、責任感)にも関連し、自分自身と他者の「安全」を考えていくために、この「安全の日」を機会にもう一度、身の回りの安全について、ご家族やお友達と一緒に考えてみてください。

これから暑い夏を迎えますが、身体に気をつけ、健康で有意義な夏を過ごされますようお祈りいたします。



ユースリーダー安全支援金 ご協力をお願い

大阪YMCAでは、YMCA運動を支え発展させていく担い手であるユースボランティアリーダーの安全と研鑽のために、研修などに用いられる募金を実施しています。みなさまのご協力をお願いいたします。

募金方法 一口 1,000円

募金期間 7月1日(水)~8月31日(月)

受付窓口 各YMCA、大阪YMCA本部事務局
(06-6441-0894)

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2015年5月度報告

【新規会員】

石谷 瞳
齋藤 充生
西岡 侑香

【継続会員】

生雲 文枝
池田 和弘
石川 悟
乾 東雄
井上 巖
井上 公男
植下 五郎
梅谷 明子
大岸 弘子
大谷 勝彦
加藤 明宏

加藤 寅尾
河本 武久
久保 秀美
越野 滋明
小西 和子
小林 愛実
齊藤 光弘
坂田 茂
桜井 和之
清水 誠治郎
卜田 昭子
卜田 啓三
武田 安規
辰巳 修子
谷 正一
津田 誠
土居 香菜子

西川 航平
錦織 一郎
西田 孝和
西野 建吉
西村 和雄
長谷川 幸子
長谷川 ゆかり
浜野 慎也
原 寛
廣島 義夫
藤田 貴大
富士水 英一
前田 孝志
眞嶋 克成
松尾 博之
松下 広子
丸尾 欽造

水野 善夫
村井 達司
森井 隆生
森田 照美
山上 実海
山崎 大詩
吉岡 香代子
米澤 保男
鷺谷 糸津子
渡辺 宏子

【継続賛助会員】

栄光時計株式会社
株式会社
シェル石油大阪発売所